

報告書印刷製本仕様書

1 書名	公益財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書第 100 集		
	鞆港湾施設跡 福山港 港湾改良事業(鞆地区)・福山港 港湾海岸保全工事(江の浦地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書		
2 判型／組型／総頁数	A4判	／ 横組	／ <u>629</u> 頁 (見返しは除く)
3 内容	表紙		<u>4</u> 頁
	見返し	【有】	
	中表紙	【挿図有】(裏白頁を含む)	<u>2</u> 頁 (挿図原稿 <u>1</u> 点)
	巻頭図版	(片面刷)(裏白頁を含む)	<u>2</u> 頁 (写真原稿 <u>2</u> 点)
	本文	(増頁分含む合計頁数)	<u>451</u> 頁
	例言	【図版(有 <u>無</u>)】	<u>2</u> 頁
	目次		<u>10</u> 頁
	文章	(図・表を含む)	<u>214</u> 頁
	挿図	(デジタル図) 1色刷	<u>68</u> 枚 ・ 多色刷 <u>53</u> 枚
	内訳	折込なし(1色刷)	<u>61</u> 枚
		折込なし(多色刷)	<u>40</u> 枚 × 1 × 4 = <u>160</u> 頁
		折込なし(2色刷)	<u>12</u> 枚 × 1 × 2 = <u>24</u> 頁
		二つ折込(1色刷)	<u>3</u> 枚 × 3 × 1 = <u>9</u> 頁
		三つ折込(1色刷)	<u>4</u> 枚 × 4 × 1 = <u>16</u> 頁
		四つ折込(多色刷)	<u>1</u> 枚 × 4 × 4 = <u>16</u> 頁
	付表	(表:Adobe InDesign 2025)	原稿合計 <u>39</u> 枚
	画像	(カラー画像・モノクロ写真など)	写真原稿 <u>60</u> 点
	写真版	「図版」扉(裏白頁を含む)	<u>2</u> 頁
		(両面刷)(裏白頁を含む)	<u>132</u> 頁 (写真原稿 <u>255</u> 点)
	内訳	遺構図版	<u>62</u> 頁 <u>186</u> 点
		遺物図版	<u>69</u> 頁 <u>69</u> 点
	報告書抄録		<u>2</u> 頁
	奥付	(裏白頁を含む)	<u>2</u> 頁
	付図(封筒付)	A2判(多色刷)	<u>1</u> 枚 × 8 × 4 = <u>32</u> 頁(増頁分)
	付録(PDF)	図 <u>2</u> 枚 石材カード	<u>2,738</u> 枚 (写真あり)
	挿図原稿合計	(中表紙・本文・付図の合計)	<u>123</u> 枚
	写真原稿合計	(本文・写真図版の合計)	<u>317</u> 点
4 紙質	表紙	上質紙(白)	A判 <u>86.50</u> kg相当
	本文	書籍用紙(クリーム)	A判 <u>57.50</u> kg相当
	巻頭図版	アート紙	A判 <u>70.50</u> kg相当
	「図版」扉・写真版	アート紙	A判 <u>70.50</u> kg相当
5 印刷	(1) 種別	本文 オフセット	
	(2) 方法	巻頭図版 カラー(片面刷)	<u>2</u> 点
		本文・付図 カラー (画像)	<u>60</u> 点 ・ 多色刷 <u>54</u> 点)
		写真版 カラー(両面刷)	<u>255</u> 点
		背文字 <u>有</u> ・ 無	
6 活字	本文15級(10.5P)	明朝体	43 文字 × 35 行

7 製本 無線とじ・あじろとじ・糸かがり

8 割付・組見本

- (1) 全体の割付は組見本ならびに係員の支持に従い、印刷所が責任をもって行うこと。
- (2) 活字母型は同一のものとし、不揃いがないようにすること。

9 組版・図版下

- (1) 組版は本組とする。
- (2) 挿図は鮮明に(線が消えないように)すること。
- (3) 写真図版は175線とする。
- (4) その他については、係員の指示に従うこと。

10 入稿・原稿等

- (1) 原稿は、デジタルデータ(Adobe InDesign 2025)渡しとする。
- (2) InDesignの割り付けのとおり配置し、その他は係員の指示に従うこと。
- (3) 本文(中表紙を含む)に配置しているデータは、Adobe illustrator 2025及びTIFF画像である。
- (4) 付録のデータは、PDF画像をCD/DVDに記録する。
- (5) 写真図版に配置しているデータは、全てTIFF画像である。
- (6) 写真図版は、各原稿の調子をとること。(個別に縮小などのサイズ調整あり)

11 校正

- (1) 社内校をした上で校正を提出すること。
- (2) ゲラは挿図・付表を所定の位置に貼付した完全なものとする。
- (3) 校正は三校まで行う。(ただし、必要と認める場合はこの限りではない。)
- (4) ゲラ部数は初校～三校とも3部とする。
- (5) 写真校正は、二校目に密着印画紙またはゲラ刷り(コピーは不可)を提出すること。
- (6) 写真図版は本紙校正を2回行う。(ただし、結果によってはこの限りではない。)

12 納入品 印刷・製本部数 300 部・PDF 2 枚

再版可能なPDF(1枚)		web公開用PDF(OCR)(1枚)
本文	600 dpi	150 dpi
モノクロ写真	350 dpi	150 dpi
カラー写真	400 dpi	150 dpi

13 納期 令和8年3月6日

14 その他

- (1) 後日、正誤表を作成することがある。
- (2) 製本見本(本刷り見本)を2部作成し、検査を受けること。
※ 図面の天地の逆転や、ページの抜けなどの確認で校正ではない。
- (3) 検査に合格したものを納品し、不良品はすみやかに取り替えて納品すること。
- (4) その他、係員の指示によること。
- (5) 納品時の梱包は、1包で最大7kgとする。

15 参考事項

抜刷(経費は見積外) 有・無 箇所 部
増刷(経費は見積外) 有・無 160 部